



● 環境システム ●

● 第9回 日時：11月18日（水）18:00～21:00 場所：

日科技連 出席者：7名

議題；予防保全と信頼度解析

内容；2変数指数分布にしたがって故障する2ユニット並列冗長システムに対する軽度な予防保全と信頼度解析

● 創造性開発の数学モデルと CBD ●

● 10月例会（参加人員12名）

日時：10月21日（水）

場所：日本電信電話公社データ通信本部会議室

講義題目「対称性の尺度シメトロピー」

講師 電電公社 武蔵野電気通信局

研究専門調査役 淀川英司

司会／抄録説明

データ本部 3-3 ライブラリー 宮崎聖藏

〔要約〕

1. パターンの対称性の度合を示すエントロピー的な量をシメトロピーと名づけ次のように定義する。

$$S_N = - \sum_{k=1}^4 P_k \log_2 P_k$$

2. パターンの複雑さ(単純さ)の認知には、パターンの全体的性質のほか、パターンの部分的(分節的な)性質も関与していると考えられる。

3. パターンの良さは、全体的な性質の認知に関する概念である。

4. 2次元有限 Walsh 変換ならびにエントロピー的尺度という2つの発想にもとづいて考案されたシメトロピーは、パターンの対称性の客観的量的尺度としては従来のものよりかなり自然で合理的なものと思われる。

● 11月例会

日時：11月25日（水）15:00～17:30 場所：電電公社

(第22森ビル) 出席者：16名 テーマ：芸術と創造性

講師：川野洋（東京都立工科大） 司会：石鍋雅男

（東洋製缶総研）

〔要旨〕

コンピュータ・アートにおけるテクニク的な重要性

は、その芸術へいかに Semantics を付加するかということである。短歌を作り出す TANKATN は Woods の自然英文を理解するオートマトン・モデルである A TN を改良し、それに短歌のもつ Semantics をつけたものである。この TANKATN は bottom-up な部分ではモチーフの経験的示唆によって作られるが、これは TANKATN の top-down 処理方式の多義性と複雑さを軽減している。

● 12月例会

日時：12月14日（水）15:00～18:30 場所：電電公社

(第22森ビル) 出席者：9名 テーマ：発見的プログラミングについて

講師：竹内郁雄(武蔵野通研)

司会：広内哲夫

〔要旨〕

ゲームの解法には、発見的プログラミングの中で α - β カットの技法が主に用いられている。しかし、発見的プログラミングにおいては、局面の評価が非常にむずかしく、ある局面である評価関数が有効であっても、他の局面では、それが必ずしも有効とは限らない。そこで、先読みの深さを単に増すよりも、局面全体を認識するテクニックを導入することが重要となろう。

● 経営コンサルタント ●

● 第20回 日時：昭和56年11月14日 場所：東京都勤労

福祉会館 テーマ：医薬品のマーケティング；樋爪 徹

(山之内製薬)

きわめて多岐にわたり、しかも研究開発にお金がかかり、そのうえ、人間の生命に重大なかわりをもつ製薬業においては、その製品をきわめて品位の高い方法で提供することがのぞましい。したがって、セールスマンを狩りたてて行なう人的押込み販売(セールス)によるよりは、関係者の理解と厚意にあずかる(買ってくださる)マーケティングによる製品の提供を心しなければならぬ。そのためには相当に頭をつかわなければならない。

● 第21回 日時：昭和56年12月5日 場所：東京都勤労

福祉会館 テーマ：創新的経営のすすめ；上田 亀之助

(上田イノベーション研究所)

常に変化を続け新しくなってゆく経営環境のなかでマネージャーは手に入る諸資源を活用して社会的有機体を積極的に環境に適応せしめ、よりよい成果と貢献をなしとげなければならない。ところが経営の段階では数字でつかみにくいことがきわめて多いので、テトラ立体思考法によりものごとを立体構造としてとらえ具体的な創新(創造と更新)を実践するような便法を考慮することが提言された。